

特集 安心・快適な

今年の主なハード事業を紹介

【道路整備】

北海道横断自動車道 網走線 足寄～北見間
(平成26年度区間事業費 61億2,000万円
＝帯広開発建設部予算も含む)

北海道横断自動車道の足寄～北見間の工事が平成19年度から始まり、盛んに行われています。

今年度は、陸別・訓子府町界～訓子府IC（インターチェンジ）間および、訓子府IC～北見西IC間の橋梁上部工事や全線の盛土などの改良工事、舗装を実施。また、訓子府IC周辺では接続道路の整備などを実施しています。

訓子府ICから北見西IC間は平成27年度中に供用予定、陸別町小利別出入口～訓子府IC間は平成28年度供用予定となっています。

開盛の道有林内で建設中の三豊橋（仮称）



末広団地東1丁目線道路整備工事
(工事費 1,900万円)

末広団地のうちの平成23年度に完成した区間の道路改良・舗装を実施しています。

延長158.47m、幅員6mで、11月末に完成予定です。

東幸町北3条線道路整備工事
(工事費 850万円)

未改良路線の道路改良・舗装を実施しました。
延長55.64m、幅員6mで10月末に完成しました。



こども園建設事業（現在実施設計中）

幼稚園と保育園の一体化施設「訓子府町こども園」は、現在、実施設計が行われ、今年度中に工事概要がまとまります。

基本計画では、木造平屋建て約2,000㎡の施設とし、町有林のカラマツや姉妹町・津野町のヒノキ材を使用する予定のほか、再生可能エネルギー（地中熱ヒートポンプ・太陽光発電）を導入する計画です。



こども園建設予定地の幼保グラウンド。右端が現保育園、左側が現幼稚園

まちづくりを

町では、「安心・快適なまちづくり」をめざして、さまざまな事業を実施しています。

今年度実施している各種事業のうち、旧訓子府駅周辺整備、公営住宅整備、道路整備などのハード事業の一部を紹介します。

旧訓子府駅周辺整備工事（工事費 8,500万円）

ふるさと銀河線跡地を利用し、旧訓子府駅を中心とした一体的な施設整備を行っています。

平成25年度には、駅北側の幸町線を延長して、駅南の停車場線とドッキングさせ開通、バスレーンを駅南から駅西側に移設するとともに、周辺駐車場を拡充整備しました。

今年度から、銀河公園や南12線の歩道などを整備しています。「憩いの広場」や「交流の場」など、さまざまな空間を整備し、27年度から全面利用ができる予定です。



末広団地公営住宅建設工事 (工事費 5,530万円)

【公営住宅整備】



平成24年度から27年度までの4年間で、4棟12戸建設する予定で、今年度は、木造平屋建て1棟3戸（2LDK2戸・3LDK1戸）延べ面積285・03㎡を建設しました。外部物置、自転車置き場を棟内に組み込み、玄関通路にはひさしを設けて、冬期間にも安心して利用できる施設とします。玄関、浴室などの段差解消、ゆとりある出入り口寸法、洗面脱衣室およびトイレでの介助空間を確保しています。

旧訓子府駅周辺や公営住宅の整備